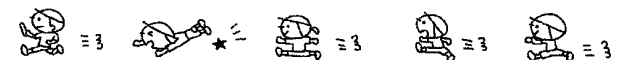




～11月のクラスだより～



ひよこ組

【11月の保育のねらい】

・戸外や散歩でどんぐりや落ち葉などに興味を示し、拾ったり握って楽しむ。



<大きくなりました ～ひよこ組の運動会～>

令和小学校での運動会が終わりました。晴天で気持ちの良い時間でしたが、いつもと違う環境で、子どもたちはびっくりしたようでした。

当日少しでも戸惑わないよう、私たちも色々やってみました。車や箱に乗って遊んだり、ブルーシートの上をハイハイしたり歩いてみる経験をしました。おもちゃの入った袋を引っ張ったり、斜面を登り降りする楽しそうな姿もありました。慣れた保育園での生活の中で安心して楽しんでいました。でも、本番はそううまくはいきませんでしたね。あんなに広い場所とたくさんの人。それでも、子どもたちを見て「大きくなったなあ」と私たちは思いました。保護者の皆さんもそう感じたのではないのでしょうか。

運動会に参加するにあたって、私たちは「保育の一端をご覧いただき、お子さんの成長と一緒に喜びたい」と考えていました。行事はそんな願いが共有できる場だと思っています。毎年みんなで集まって、一年毎に大きくなっていく子どもたちと一緒に見られたらいいなと思います。来年はどんな姿を見せてくれるのか、今から楽しみです。



りす組

【11月の保育のねらい】

- ・保育者や友だちと、手つなぎ歩きで散歩を楽しむ。
- ・保育者に手伝ってもらいながら、衣類の着脱を試みようとする。



<メダルとったよ>

運動会にご参加いただき、ありがとうございます。普段から身体を動かすことが好きになりすぐみの子どもたち。「よーい、どん！」の掛け声に合わせて走ったり、斜面や段差の登り降りなどを楽しんでいました。

運動会では、普段の子どもたちの好きな遊びや動きを取り入れたものにしたと思い、考えてみました。自分でバランスを取りながら斜面を降りたり、ジャンプして両足で着地できるようになったりと、4月から比べてみて身体の使い方が上手になった姿を見ていただけたのではないのでしょうか。最近はこのマークを覚えたこともあり、ゴールのメダルを目指していき、出発！自分でメダルを取った子どもたちの嬉しそうな笑顔が見られて、私たちが嬉しくなりました。運動会が終わってからも、「メダル取ったよ！」「トンネルやったよね」と思い出したり、かっちょいい体操の曲を口ずさんで踊ったりする姿を見ては、楽しい時間を過ごせたのだと感じています。

来年はどんな姿を見せてくれるのか、楽しみです。



うさぎ組

【11月の保育のねらい】

- ・落ち葉やどんぐりなど、秋の自然物を見つけ、お店屋さんごっこやままごとに取り入れて遊ぶ。
- ・衣類の着脱や食事など、身の回りのことを自分でやり、「自分で最後までできた」という喜びや達成感を味わう。



<おばけなんて怖くない！>

うさぎ組の子どもたちは的当てで遊ぶことが好きで、自分たちで新聞紙を丸めて玉を作り「どこに投げようか？○○さん作ってよ～」と伝えに来ます。「おばけがいいな」という声が多く、おばけの的を作り（子どもたちが自分たちで描き始めることもあります）、みんなで「おばけさん、いなくなれ～」と投げることを楽しんでます。そのような姿をぜひ見ていただきたい、一緒に楽しさを感じてもらいたいと競技に入れてみました。当日は保護者のみなさんもたくさん投げてください、無事におばけが逃げていきましたね。

競技の始まりはお父さん、お母さんと離れるのが寂しく泣いている子もいましたが、「ママとパパの所まで頑張るね」と気持ちを切り替え、名前を呼ぶと「はい！」と元気よく返事をして走り出しました。最後は大好きなバスに乗ってみんなで「ゴーゴー！」と楽しく退場。練習では1人だったので、お父さん、お母さんと一緒に走ることができて嬉しかったことと思います。ご協力ありがとうございました。



ちゅうりっぷ組

【11月の保育のねらい】

- ・自分の思いを言葉で相手に伝えながらも、相手の思いにも気づく。
- ・ルールのある遊びやごっこ遊びを通して、集団で遊ぶ楽しさを知る。

<ちゅうりっぷ組探検隊>

ブルー終いをし、散歩が再開した夏の終わり。久しぶりの散歩では「石の道渡ってみよう」「ここからヘビがでてくるんじゃない？」などと探検を楽しんでいた子どもたち。その世界観を大切に、「探検には望遠鏡を持っていくのはどう？」と提案すると、「それいいね！」「いろんなものを見つけられるかもしれない！」とほりきって作り始める姿がありました。オリジナルの望遠鏡を持っていき探検へ出発！急な斜面や階段、川にかかっている石の橋など平和の森公園の道は楽しい道ばかりで、「あ！ヘビだ！」「ここにワニがいるから落ちないようにね！」と探検隊のイメージを楽しんでいます。望遠鏡を目に当てて「このぞいてみて」「なにがいの？」と友達同士で発見を伝え合っています。

運動会の取り組みでは、日ごろ子どもたちが楽しんでいた「探検」をぜひ見てもらいたく、競技を考えました。ジャングルの橋にはワニがいるというイメージから、折り紙をちぎって貼った段ボールでワニを作ったり、トンネルに動物や葉っぱなどの飾りをつけたり、さらにイメージしている探検に近づけるように取り組んできました。毎日カレンダーを眺めて「もうちょっと」「はやく本番にならないかな～」などと、運動会を楽しみにしていました。本番ではおうちの方が見に来てくれた嬉しさや緊張感もありながらも、子どもたちは音楽に合わせて踊り、運動会での探検を楽しみ、堂々とした姿を見せてくれました。初めての運動会を終え、一回り成長した子どもたちでしたね。これからも元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいきたいと思っています。



さくら組

【11月の保育のねらい】

- ・保育者に感情を受け止められながら、気持ちに折り合いをつける。
- ・絵本や紙芝居を沢山読んでもらい、物語を楽しむ。

<運動会たのしかったね～>

進級した当初から、園庭ではボールを使って遊ぶ姿が多くみられていた、さくら組の子どもたち。夏の暑さが落ち着き、再び園庭で身体を動かすことができるようになった頃から、サッカーゴールにシュートを決めることを楽しむ姿が見られるようになり、次第に「ぼくも入れて！」「じゃあ誰かキーパーやる？」と遊びが広がるようになっていきました。そんなサッカーの要素がクラス競技のコースに加わると、「練習する！」と更にサッカー熱が加速していったのでした。そこに、さらに日ごろからウレタン積み木を使ったジャンプを楽しんでいた、ウレタン積み木ジャンプを加えると、はじめは「できるかな...」というような不安そうな表情も見られましたが、次第に「えー！難しいよー！」と言いながらも笑顔で挑戦したり、失敗してしまってもめげずに「もう1回やる！」と再び列に並んだりする姿が見られるようになりました。

そうして迎えた当日。令和小学校という初めての場所で、緊張する姿も多く見られるのでは...という予感もありましたが、そんな心配を跳ね除けるほどの笑顔で参加してくれ、大きな成長を感じましたね。

運動会への取り組みを通じて、さくら組だけでなく様々なクラスの競技を見て、「(もみじ組の)○○くんすごい速い！」「(乳児クラスの)○○ちゃん緊張してるのかな？頑張れー！」「もみじ組になったら太鼓できるの？」など、年下の子を思いやる気持ちや、特にもみじ組への憧れの気持ちが芽生えている 子どもたち。運動会を通して成長したところを、後期の生活や進級につなげていければと思います。





もみじ組

【11月の保育のねらい】

- ・互いに考えを出し合いながら、友だちと協力しあって遊びや活動をすすめようとする。
- ・秋の自然に触れたり遊びの中に取り入れたりして遊ぶ。

<友だちと一緒にがんばった運動会>

もみじ組は「運動会でやりたいこと」をクラスで出し合い、競技をみんなで決めました。

「たいこみせたい」「なわとびやりたい」「たまいれしたい」「きょうそうしたい」と意見が出ました。

「きょうそう」のイメージはどんなものだろう？と思い、こどもたちに聞き取りながら、実際遊びの中でやってみました。まず、みんなで一緒に『よーいドン！』と走ってみました。「～ちゃんは1位、2位は～君。3位は～君。…なんか違う。」とこどもたち。そして次にリレーもやってみました。「これやりたい！リレーだ！」とこどもたちの中でイメージが一致し、「きょうそう」は『リレー』に決定しました。

チームのメンバーや順番もいろいろ替えながら、又、勝ち負けをいく度も経験していく中で、悔しい！おもしろい！などを味わうことはもちろん、どんな順番にしたら勝つのかなど工夫したり、速く走ると抜かせるなどいろいろな気付きがありました。当日も友だちを応援し、全員が真剣に参加しとても良い勝負でした。

春から取り組んできた縄跳びは、自分の得意技を3つずつ披露しました。跳べるようになり、難しい技も練習してきたので、3つに絞るのに悩んでいたこども達です。友だちに「この技はすごかったよよく跳べてるよ」などアドバイスをもらったりしながら決めていました。たくさんの人に見てもらいとても自信になったようです。

ひよこ組からさくら組までの全クラスの競技の手伝いを頼まれたもみじ組。

練習から、競技の手伝いをやっていたので、運動会当日は更に、「保育園のなかで一番大きなお兄さんお姉さん」という意識を持ちながら、はりきって手伝いをしたり、小さな子へも「頑張れ～」など声をかけ応援することができました。手伝いをし、小さなクラスとも関りが持てたことで、「こっちだよ～大丈夫だよ～」など、かわいがる気持ちが膨らんだようです。

閉会式で、これまでのがんばりが認められ、もみじ組だけ金メダルが贈られました。金メダルをもらったもみじ組の表情は、当日の快晴以上に晴れやかでした。

“もみじくみになったらこんなことができる！”とちょっと背伸びをしつつ、誇らしさや嬉しさ楽しさを感じながら、樽太鼓や縄跳びにも取り組んでほしいと思い活動に入れてきました。こどもたちも日々練習を重ね、意見を出し合ったり工夫のしかたを伝えあったりするなかで、友だちから学ぶことも大きく、こども同士の関係がつながったと思っています。

たくさんの人に見てもらえた久しぶりの運動会。こどもたちもみんな「楽しかった！」と言っていました。



★もみじ組は、午睡をしない生活が始まりました。春からの小学校生活に向けて、また一歩進んでいきます。